

中島みお子

Mioko Nakajima

知
って
得
する

教育ディベートの基礎知識

ディベート って何？

誰にでもわかるディベート！

日本にはディベートに相当する言葉がなかっただけ
実際にはあなたもしているディベート

日本人には余り知られていないディベートについて
わかりやすくまとめた入門書



近代文芸社



なに きょういく き も ち しき
ディベートって何？ — 教育ディベートの基礎知識

第一刷——1997. 9. 20

著 者 —— 中 島 みお子 (なかじま みおこ)

発行者 —— 福 沢 英 敏

発行所 —— 近現代文芸社

〒112 東京都文京区目白台2-13-2

TEL (03)5395-1199 (編集)

(03)3942-0869 (営業)

FAX (03)3943-1232

印 刷 —— 信毎書籍印刷株式会社

製 本 —— 渋谷文泉閣

© Mioko Nakajima 1997 Printed in Japan

定価はカバーに表示してあります

ISBN 4-7733-6169-7 C 0037

落丁・乱丁本はお取り替えいたします

ディベイトって何？

教育ディベイトの基礎知識

中島みお子章

近代文芸社

はじめに

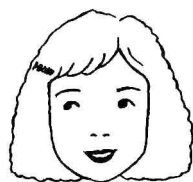
「楽しいディベート」

この本を作るにあたって、つけようとしたタイトルでした。

ディベートという言葉はまだこの日本ではそれほど多く知られていませんし、時として余り良いものでないような言い方で言われている場合もあります。しかし、本来のディベートはとても純粋なものです。「何が私達にとって本当に良いものなのか……」「真実は何なのか……」と、考えるための話し合いなのです。

私は地域の公民館等でディベートを教えています。この本の中に時々出てくるJDA（日本ディベーター協会）は、この地域の小さなディベートのグループを集め、トーナメントや社会見学などをする交流の場として作りしました。

華道ではなく、茶道でもなく、何の資格にもならないディベートをしようとする人が少な



いながらも、あちこちにいます。なぜなら、ディベートをすることにより、論理的に考えられるようになる、自分の考えをまとめられるようになる。社会の動きを知ることができるようになる等々。その人達は、ディベートが人に与える良い影響がたくさんあるのを知っているからです。

文部省も学校教育にディベートを取り入れるよう推奨し、実際に取り入れている学校も増えていきます。これからの日本人は外国に出る機会が多くなり、国際社会の中では自分の意見を明確にしておくことも要求されるようになるでしょう。そのためにもディベートはとても役に立ちます。

ディベートを練習しているうちに、「世の中にはこんなにいろいろな考え方があるのだ……」ということがわかり、勝ち負けよりその話し合いの内容を重視するようになります。人の話、話し方、そして他の人とのコミュニケーションが楽しくなるのです。

私はここ数年来他の人のディベートを聞くことばかりでしたが、ディベートとは楽しいものだということを常にかけてきました。そして、この度、ディベートを試してみようと思った人の手引書になればと考え、ディベートの基礎知識を一冊の本にまとめようと思ったときに、思いついたタイトルが先の「楽しいディベート」だったので。

ほとんどこのタイトルに決めて、この前書を書く段になったとき、ふと「基礎知識」の何処が楽しいのかと考えたのです。ところが、ないのです。俗に楽しいと思うようなことが。当然といえば当然です。教育でするディベイトのマニュアル本みたいなものですから。大体、マニュアルの本で面白いものがあるのでしょうか。

考えに考え、ディベイトをすることは楽しいのだけれど、この本は真面目で教科書的ではあるけれど、特に楽しいものではないという結論になり「楽しいディベイト」というタイトルは涙をのんで取りやめました。

ですから、ディベイトしてみようと思って、この本を手にとった方には良くわかっていただける内容だと思いますが、この本を手にとって、ディベイトをしてみようと思った方は、きつとディベイトの考えに何処か通じるところのある方ではないかと思っています。

これはディベイトの基礎知識ですので、この本でディベイトの基礎を知っていただき、ディベイトに対する考えを深めていただけたらこんな嬉しいことはありません。

一九九七年八月十二日

中島 みお子

目次

はじめに	3
------	---

I デイベイトって何？

1 デイベイトはどれくらいの人達に知られているのだろうか	15
2 なぜ、デイベイトという言葉がなかったのか	20
3 前向きに話し合いを進めるために	25
4 デイベイトの種類	31
5 デイベイトの効用	34

II 教育デイベイト

1 デイベイトの型	43
一人対一人のデイベイト	43

チーム・ディベート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

45

2 ディベートのルール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

48

3 論 題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

54

1 事実論題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

54

2 価値論題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

56

3 政策論題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

59

(論題を作るときにの注意点)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

63

4 ディベートでの要素・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

70

肯定側 立証責任 否定側 仮定

用語の定義 立論 反駁 証拠

尋問 作戦タイム フロー・シート

Ⅲ ディベートをするとき

95

ウォーミング・アップ	97
------------	----

プロ・コン・アーギュメント	97
---------------	----

ブレイン・ストーミング	102
-------------	-----

議長	106
----	-----

ジャッジ	111
------	-----

タイム・キーパー	124
----------	-----

トーナメントの仕方	126
-----------	-----

IV アメリカからの報告

ディベイトの夏期講習に参加して	136
-----------------	-----

アメリカの高校生へ——ディベイトについてのアンケート	155
----------------------------	-----

ディベートって何？

教育ディベートの基礎知識

I

デイベイトって何？

「ディベート (Debate)」という言葉が最近あちこちで聞かれるようになってきましたが、ディベートとはどんなものなのでしょう。

ディベートとは討論の一種です。

意見を二つに分けて論議するときに使います。「AかBか」「赤か黒か」「右か左か」必ずどちらかの意見を言い「どちらでも」とか「どちらでもない」とか言うことはないようにします。

早く言えば、二者択一のための論議ということです。二つあるもののうちからどちらに決めるか話し合う、ということです。ですから、考えてみればディベートは難しい、わけがわからないことではなく、ディベートという語に相当する言葉が日本語にないだけで、それに似たようなことは日本でも昔からしてきてはいるのです。

しかし二者択一といっても、何でもよいからどちらかに決めてしまうというのでは、ディベートではありません。基本的には物事を決めようとするときに、必ず理由を言ったりデータを出したりし、相手が納得するような言い方をして説得する話し方を、ディベートというのです。

1 ディベートはどれくらいの人達に

知られているのだろうか

千里ニュータウンは大阪の北部にある、万国博覧会を契機に発展した町です。大阪のベッ
ドタウンといわれていて、町の作りは道が広く、緑が多く、人が住むのにはとても快適な環
境だといえます。大阪の中心の繁華街ではなく、人の少ない田舎の町ではなく、適当に文化
の発達した、都会の郊外です。

今回（一九九六年十月現在）、こんな環境の中にある公立中学校と、公立高校の先生方及
び公立中学校の二年生に、ディベートについてのアンケートをお願いしました。その結果は
次のようですが、先生には任意ということをお願いしたため、出してくださった方は中学の
場合三〇名の職員中七名、高校の方は五〇名の職員中ほぼ半分でした。

出してくださらなかった方についてのことは何とも言えませんが、知らない、興味がない